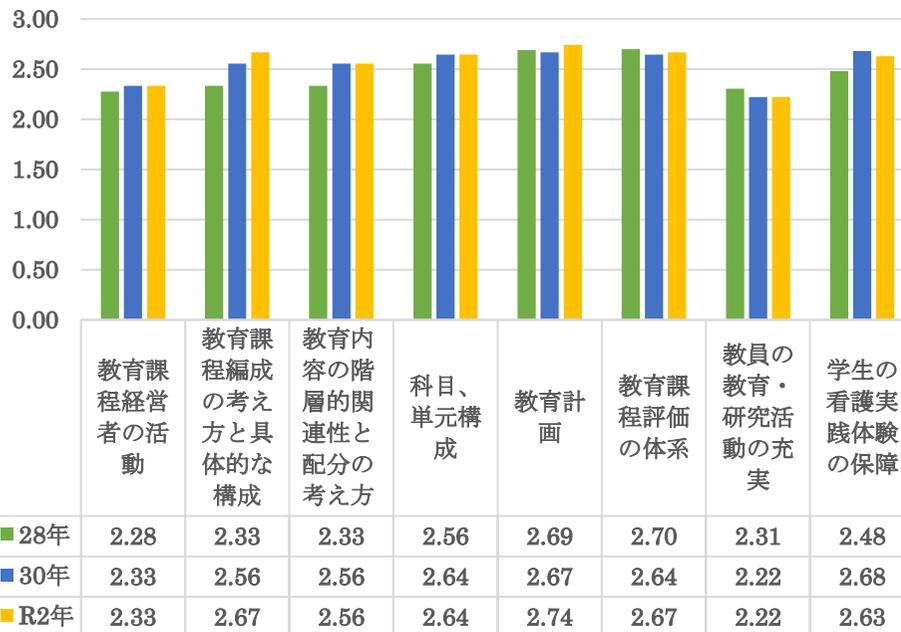


学校関係者評価

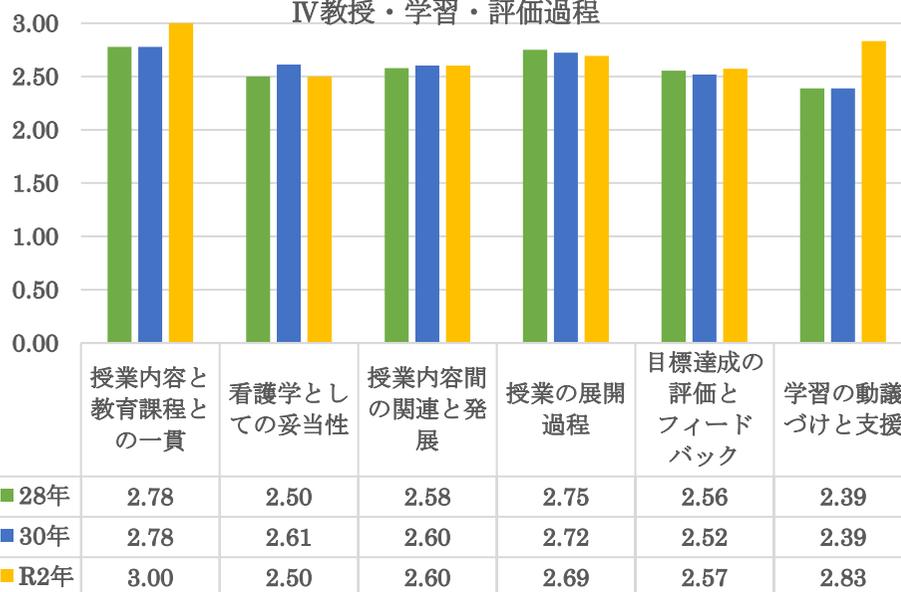
2名の委員を委嘱し、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策から委員個々から文章での評価とした。

結果		分析		学校関係者評価																												
<p>I 教育理念・教育目的</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>法的整合性と独自性</th> <th>教育理念・教育目的の意義と周知</th> <th>看護専門職についての考え方</th> <th>看護教育についての考え方</th> <th>学習・教育観と学生観</th> <th>教育理念・教育目的の評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ 28年</td> <td>2.33</td> <td>2.23</td> <td>2.07</td> <td>2.17</td> <td>2.22</td> <td>2.44</td> </tr> <tr> <td>■ 30年</td> <td>2.67</td> <td>2.50</td> <td>2.37</td> <td>2.39</td> <td>2.78</td> <td>2.67</td> </tr> <tr> <td>■ R2年</td> <td>2.89</td> <td>2.39</td> <td>2.41</td> <td>2.44</td> <td>2.67</td> <td>2.67</td> </tr> </tbody> </table>			法的整合性と独自性	教育理念・教育目的の意義と周知	看護専門職についての考え方	看護教育についての考え方	学習・教育観と学生観	教育理念・教育目的の評価	■ 28年	2.33	2.23	2.07	2.17	2.22	2.44	■ 30年	2.67	2.50	2.37	2.39	2.78	2.67	■ R2年	2.89	2.39	2.41	2.44	2.67	2.67	<p>I 教育理念・教育目標 6項目 平均点 2.55 (2.52)</p> <p>すべての項目で平均点 2.1 (70%) 以上の点数となっている。最低項目は「教育理念・教育目標の意義と周知」である。</p> <p>入学時オリエンテーションで教育理念・目的について説明しているが、年度初めに各学年において教育理念・教育目的を周知し学生が意識していけるような取り組みが必要である。</p> <p>II 教育目標 5項目中 平均点 2.57 (2.62)</p> <p>H28年と比較するとほとんどの項目が上昇しているが、平均点は前回より 0.5 ポイント低下している。最低項目は「設定意図とその明確性、実現可能性」である。</p> <p>年度末に、厚労省の示す「看護師教育の技術項目と卒業時の到達度」「看護師に求められる実践能力と卒業時の到達目標」のアンケート調査を実施しており、その調査結果等から教育目的、教育目標の整合性、妥当性を評価していく必要がある。</p>		<p>I 教育理念・教育目標</p> <p>教育理念・教育目標の周知は難しいと思います。具体的に周知するための取り組みを具体的にしていきたいと思います。</p>
	法的整合性と独自性	教育理念・教育目的の意義と周知	看護専門職についての考え方	看護教育についての考え方	学習・教育観と学生観	教育理念・教育目的の評価																										
■ 28年	2.33	2.23	2.07	2.17	2.22	2.44																										
■ 30年	2.67	2.50	2.37	2.39	2.78	2.67																										
■ R2年	2.89	2.39	2.41	2.44	2.67	2.67																										
<p>II 教育目標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>教育理念・教育目的の一貫性</th> <th>目標内容の側面と到達レベルの側面</th> <th>設定意図とその明確性、実現可能性</th> <th>教育目標の評価</th> <th>継続教育との関連</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ 28年</td> <td>2.56</td> <td>2.72</td> <td>2.22</td> <td>2.56</td> <td>2.22</td> </tr> <tr> <td>■ 30年</td> <td>2.89</td> <td>2.67</td> <td>2.39</td> <td>2.67</td> <td>2.67</td> </tr> <tr> <td>■ R2年</td> <td>2.89</td> <td>2.61</td> <td>2.33</td> <td>2.67</td> <td>2.56</td> </tr> </tbody> </table>			教育理念・教育目的の一貫性	目標内容の側面と到達レベルの側面	設定意図とその明確性、実現可能性	教育目標の評価	継続教育との関連	■ 28年	2.56	2.72	2.22	2.56	2.22	■ 30年	2.89	2.67	2.39	2.67	2.67	■ R2年	2.89	2.61	2.33	2.67	2.56	<p>I 教育理念・教育目的、II 教育目標は学生にとって学習の指針になることから、評価に当たっては卒業時における学生の達成状況が指針となる。学生自ら卒業生像に向かっていけるよう教育活動に取り入れていく。今後は、ディプロマポリシー(卒業認定要件、卒業時の能力)を明示して一貫性、整合性を検討し新カリキュラムに反映していく。</p>		<p>II 教育目標</p> <p>高い評価を得られており、今後も継続し整合性を評価していくと思います。</p> <p>教育理念、教育目的、教育目標の一貫性は認められているため、より明確な評価につなげられるよう「設計意図とその明確性、実現可能性」(教育目標)についての妥当性を検討していく必要がある。(学生自身が理解し、目指していく方向性が明らかなものになっているか)</p>				
	教育理念・教育目的の一貫性	目標内容の側面と到達レベルの側面	設定意図とその明確性、実現可能性	教育目標の評価	継続教育との関連																											
■ 28年	2.56	2.72	2.22	2.56	2.22																											
■ 30年	2.89	2.67	2.39	2.67	2.67																											
■ R2年	2.89	2.61	2.33	2.67	2.56																											

Ⅲ教育課程経営



Ⅳ教授・学習・評価過程



Ⅲ教育課程経営 7項目中 平均点 2.50 (2.49)

8項目中、平均点以上の項目は6項目である。
 学生便覧、教育計画、シラバスを通して、年度初めに学生へ周知していることが評価につながっていると考えられる。
 最低項目「教員の教育・研究活動の充実」はH28年より0.9ポイント低下しており、前回と同じ点数である。毎年、学会への参加をしているが、研究活動に取り組む時間的余裕がないのが現状である。
 教員自身の成長や育成のため、日々の教育活動について授業案や教育方法の在り方について情報交換や検討をしあう機会を定期的に設定することが必要である。また、専門分野以外の科目を担当することは自らの成長に有効であると捉え、教員同士の協力体制の構築に努めていく。

Ⅲ教育課程経営

教員の研究活動等は、今回新型コロナウイルス感染症により学内実習が多くなり、教員の時間的余裕がなくなり研究活動等の取り組みは難しいと思います。

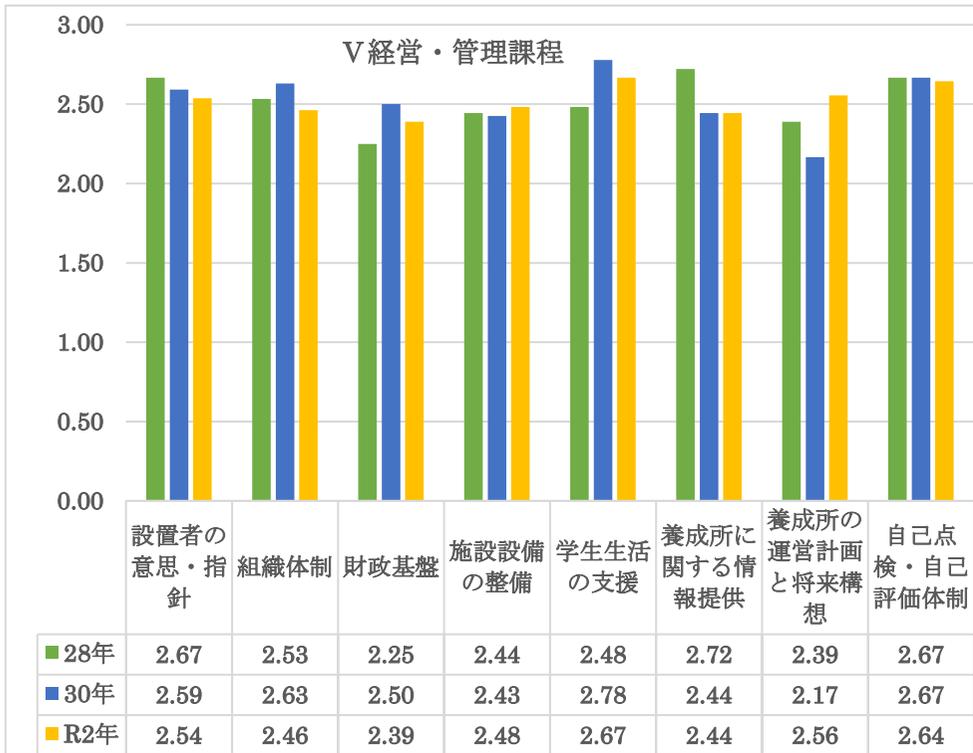
教員の教育、研究活動の充実に関しては、コロナ禍において様々な業務の増加に伴い、時間的、物理的に困難な状況は当然といえる。教員間の建設的な関係づくり、取り組みへの努力が大切になっていくと考える。

Ⅳ教授・学習・評価過程 4項目中 平均点 2.65 (2.58)

すべての項目が2.55以上の高評価であり、特に「学習の動機付けと支援」では大幅に上昇している。
 授業計画立案では、授業内容に応じた授業形態の選択・指導技術の工夫・教材教具の活用をしながら実施している。また、すべての科目にシラバスを整備し、活用できていることから、高評価であると考えられる。
 科目評価はシラバスなどで提示している。学内技術演習の評価や臨地実習の評価では、担当教員と面談を行い自己の課題の明確化を行い教員と学生間の共通確認することが出来ている。
 今後は、評価方法について、多様な方法を検討していく事が必要である。

Ⅳ教授・学習・評価過程

すべての項目が、高評価であり、現在の教授方法で問題ないと思います。



V経営・管理課程 8項目中 平均点 2.52 (2.55)

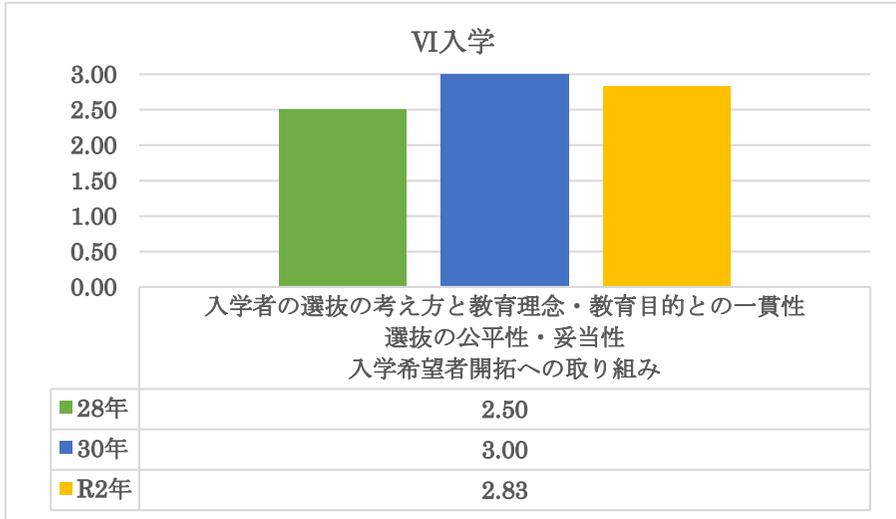
「組織者の意思・指針」「組織体制」「財政基盤」で、昨年度より0.11~0.17低下し平均点以下となっている。
 運営会議、職員会議、教務会議、入試委員会等で協議、決定により意思決定システムを整えているが、低評価であった。
 教員の意見や考え方を反映できるようにすること、議事録を全員で共有し、決定事項を周知できるシステムと整えていく。また、予算時には職員に希望を聞き取りながら協議している。今後は職員がどのような財政基盤に基づいて成り立っているのかを理解していけるようにする。

「施設設備の整備」では0.5、「養成所の運営計画と将来構想」は大幅に上昇した。現校舎にWi-Fiを整備し、学生が活用していること、令和4年改築移転が決定しその準備をしていることから高評価であったと考えられる。新校舎オープンに向け学習環境を整えていく。

広報活動は学校訪問を適宜受け入れ、個別対応も時間や日程を合わせて行っている。高校への募集要項発送、個別説明会、業者主催の進学説明会などに出向いている。学生確保は受験者数の減少が表れており、受験生の確保、広報活動の充実、広報活動の検討が必要である。

V経営・管理課程

令和4年度の新校舎オープンに向けて、将来への期待も高まっていると思います。
 職員の財政基盤への理解、学生確保の活動は、今後の社会情勢を鑑み、経営していく上で礎となるものと考えます。



VI入学 平均点 2.83 (3.0)

入試委員会を中心に入試に関する公平性を維持し、入試問題の作成、入学試験の実施、入学者の選抜を実施している。
 今後、少子化による18歳進学者の減少等から定員確保は困難になることが予測されるが、受験生の確保に向けて広報活動に努めていく必要がある。

VI入学

現在の少子高齢化の影響が強くなると思います。看護職の魅力など、広報活動を通して伝えていってほしいと思います。
 定員確保について地域就労支援等にも関連した活動を考慮されたい。

VII卒業・就職・進学

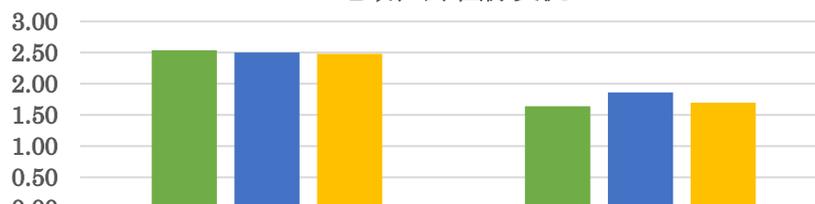


進路選択の状況と教育理念・教育目的との整合性

卒業時の看護実践能力および卒業後の活動状況の評価

■ 28年	2.24
■ 30年	2.28
■ R2年	2.42

VIII地域社会/国際交流



地域社会

国際交流

■ 28年	2.54	1.64
■ 30年	2.50	1.86
■ R2年	2.48	1.69

IX研究



教員の研究的姿勢の涵養 教員の研究活動の保証と評価

■ 28年	1.81
■ 30年	1.67
■ R2年	1.56

VII 卒業・就職・進学 平均点 2.42 (2.28)

卒業時に、厚労省の示す「看護師教育の技術項目と卒業時の到達度」「看護師に求められる実践能力と卒業時の到達目標」の調査を毎年実施、分析している。が、卒業生の活動状況の把握は計画的に行えていない現状がある。

卒業生の活動状況を計画的に調査し、さらに就職先との連携を促進し、新カリキュラム編成に反映させる。

VIII 地域社会/国際交流 平均点 2.17 (2.24)

地域活動は施設へのボランティア活動を実施している。地域の豊富な資源を活用し、地域に根ざした教育活動を目指す必要がある。各施設や病院の行事に参加し地域と交流していく。

次世代を担う看護師育成に当たっては、国際的広い視野をもって医療に貢献できるとともに、地元地域の特色を活かした教育活動の開発が必要である。

IX 研究 平均点 1.56 (1.67)

9カテゴリーで最下位である。

研究活動体制である学会・研修会参加の予算化し、全教職員が道内・道外の研修会等参加している。

研究活動に関しては、実務が優先されてしまい時間の保証が得られていないため低評価であると予測する。各専門領域の科目担当、担当時間数の公正性を保ち、授業研究や教育活動の取り組みを計画的に行う必要がある。

VII 卒業・就職・進学

今後は卒業生の活動状況を計画的に把握するよう努めてください。

卒業生の状況把握が行えていないことから、情報収集方法の検討をし、実施していただきたい。卒業生の状況を把握、評価することで、登校の教育の継続性が保たれることとなる。

VIII 地域社会/国際交流

ボランティア活動は、地域との交流ができる機会が少なくなっていると思うので、今後も継続して行ってください。

深川では国際交流が難しいと思いますが、広い視野を持つためにも教育活動の開発に努めて行ってください。

新型コロナウイルス感染症対策の中で、どのような活動、交流が可能であるか検討を続けてほしい。

IX 研究

教育の質の向上のため、時間の保証をしていくことが優先されると思います。

自己研鑽に励む職場風土や体制は整っている。今後の社会情勢に即した新たな研究活動の在り方を実施する必要がある。

X その他

新校舎オープン、新カリキュラム改正と、多忙と思います。
人口減少の一途をたどっている深川にとって、看護師育成は必須と思われるので、定員確保に努め、新校舎オープンを軸に広報活動に尽力してください。
深川市の未来を担う看護師育成を期待しています。

様々な努力によって学校運営が行われている。新型コロナウイルス感染症に伴い、様々な困難があると思うが、できることがあれば協力したいと思っています。